

福井工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	大修館書店『精選 国語総合 新訂版』				
担当教員	池田 彩音				
到達目標					
(1) 日本語の文章や言語作品を的確に読み取り、何がどのように書かれているかを説明できる。 (2) 書かれている内容について理解したうえで、自分の意見を理由を挙げて述べることができる。 (3) 他者の文章を読み、その背景となる知識や考え方を的確にとらえることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	日本語の文章や言語作品を的確に読み取り、何がどのように書かれているかをわかりやすく説明できる。		日本語の文章や言語作品を読み取り、何がどのように書かれているかを指摘できる。		日本語の文章や言語作品を的確に読み取れず、何がどのように書かれているかを理解できない。
評価項目2	書かれている内容について理解したうえで、自分の意見を理由を挙げて述べることができる。		書かれている内容について理解しており、自分の意見を述べようとしているが、なぜそう考えたか説得性に欠ける。		書かれている内容について理解できず、自分の意見を持つことができない。
評価項目3	他者の文章の背景となる知識や考え方を的確にとらえ、理解しようとしている。		他者の文章の背景となる知識や考え方があることについて気づき、興味関心を持っている。		他者の文章の背景となる知識や考え方をとらえることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	この授業では、日本語の文章や言語作品の読解を通し、他者がどのように表現しているかを知ったうえで、自分がどのように表現すれば伝わる文章を作れるのかを考え、身につける。また、他者の文章の表面上の意味だけではなく、その背景にある知識や考え方についても理解することを目指す。				
授業の進め方・方法	講義形式を基本とするが、グループワークや小レポートなど、意見を発表したり、書いたりする機会をほとんど毎時間設ける。				
注意点	授業時には、辞書を持参すること。授業終わりには本時のまとめや感想、質問等を書いてもらい、授業への参加度を判断する材料とする。中間試験は論述を中心とするので、それに向けた書く練習としても積極的に取り組むこと。中間試験 (30%)、期末試験 (30%)、小テスト、小レポート、提出物 (30%)、発表 (10%) で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の流れを理解できる。授業の概要、目的を理解する。	
		2週	尋ねあい (1)	評論を読み、何がどのように書かれているかを理解する。	
		3週	尋ねあい (2)	評論を読み、その背景となる知識や考え方をとらえ、説明できる。	
		4週	尋ねあい (3)	「尋ねあい」の作法を実践する。	
		5週	土佐日記「門出」 (1)	作品や作者の概要について知り、正しく音読できる。	
		6週	土佐日記「門出」 (2)	重要語句や文法に注意して現代語訳できる。	
		7週	土佐日記「門出」 (3)	重要語句や文法に注意して現代語訳できる。	
		8週	土佐日記「門出」 (4)	人物の行動の理由について考え、自分の意見を述べることができる。	
	2ndQ	9週	中間試験	これまでの授業内容を理解しているか、記述を中心とした問題に取り組む。	
		10週	中間試験解説	これまでの学習を振り返り、今後の課題をつかむ。	
		11週	城の崎にて (1)	本文を正しく音読できる。作品や作者の概要を知り、文学史的事項について説明できる。	
		12週	城の崎にて (2) / 【社会とつながる文章】 暑中見舞葉書(1)	何がどのように書かれているかを理解し、説明できる。 / 暑中見舞葉書の書き方を理解する。	
		13週	城の崎にて (3) / 【社会とつながる文章】 暑中見舞葉書(2)	何がどのように書かれているかを理解し、説明できる。 / 葉書のレイアウトを考え、文章を書く。	
		14週	城の崎にて (4) / 【社会とつながる文章】 暑中見舞葉書(3)	何がどのように書かれているかを理解し、説明できる。 / 葉書の表書きを書き、完成させる。	
		15週	城の崎にて (5)	登場人物の死生観がどのように変化したか説明できる。	
		16週	前期まとめ	これまでの学習を振り返り、今後の課題をつかむ。	
後期	3rdQ	1週	唐代の詩 (1) / 学校行事対応・弁論大会レポート(1)	漢詩の形式や表現について理解する。 / ディベートテーマについて、意見を出し合う。	
		2週	学校行事対応・弁論大会レポート(2)	ディベートテーマについて、討論する。	
		3週	唐代の詩 (2)	漢詩の読み方について理解したうえで、何が書かれているか説明できる。	

4thQ	4週	唐代の詩（3）／空気を読む（1）	学習した漢詩について、自分の言葉で説明できる。 ／評論を読み、何がどのように書かれているかを理解する。
	5週	空気を読む（2）	評論を読み、その背景となる知識や考え方をとらえ、説明できる。
	6週	空気を読む（3）	内容を理解したうえで、自分の意見を理由を挙げて述べることができる。
	7週	空気を読む（4）	内容を理解したうえで、自分の意見を理由を挙げて述べるができる。
	8週	中間試験	これまでの授業内容を理解しているか、記述を中心とした問題に取り組む。
	9週	中間試験解説	これまでの学習を振り返り、今後の課題をつかむ。
	10週	平家物語「木曾の最期」（1）	作品の概要について知り、音便について理解したうえで、正しく音読できる。
	11週	平家物語「木曾の最期」（2）	人物に着目し、誰が何をしたのか説明できる。
	12週	平家物語「木曾の最期」（3）	人物の行動の理由について考え、自分の意見を述べるができる。
	13週	平家物語「木曾の最期」（4）	人物の行動の理由について考え、自分の意見を述べるができる。
	14週	夢十夜（1）	作品や作者の概要を知り、何がどのように書かれているかを理解する。
	15週	夢十夜（2）	作品の表現から読み取りうることを、自分の言葉で理由を挙げて説明できる。
	16週	一年間のまとめ	これまでの学習を振り返り、今後の課題をつかむ。

評価割合

	中間試験	期末試験	小テスト・レポート・提出物	発表	合計
総合評価割合	30	30	30	10	100
基礎的能力	30	30	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0